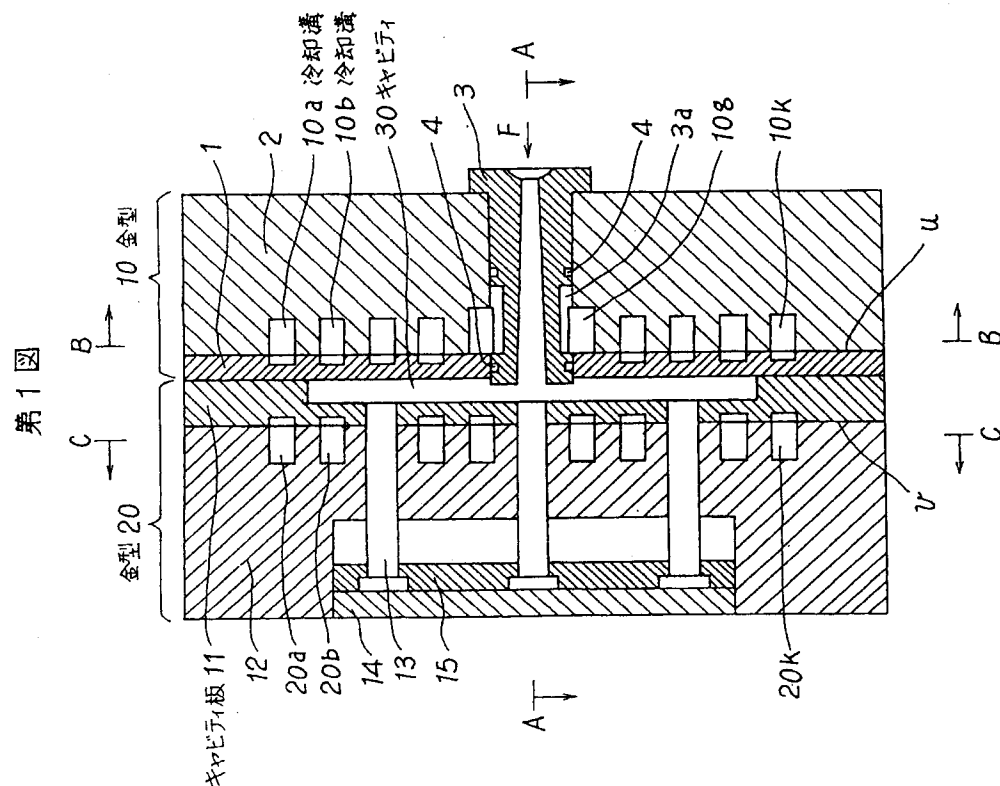


- 1 …… 固定側キャビティ板
 2 …… 固定側金型本体
 3 …… スプルーブッシュ
 3 a …… 冷却水路 10 …… 固定側金型
 10 a, 10 b ~ 10 k …… 冷却溝
 11 …… 可動側キャビティ板
 12 …… 可動側金型本体
 13 …… 突出しピン 20 …… 可動側金型
 20 a, 20 b ~ 20 k …… 冷却溝
 30 …… キャビティ u, v …… 接合面

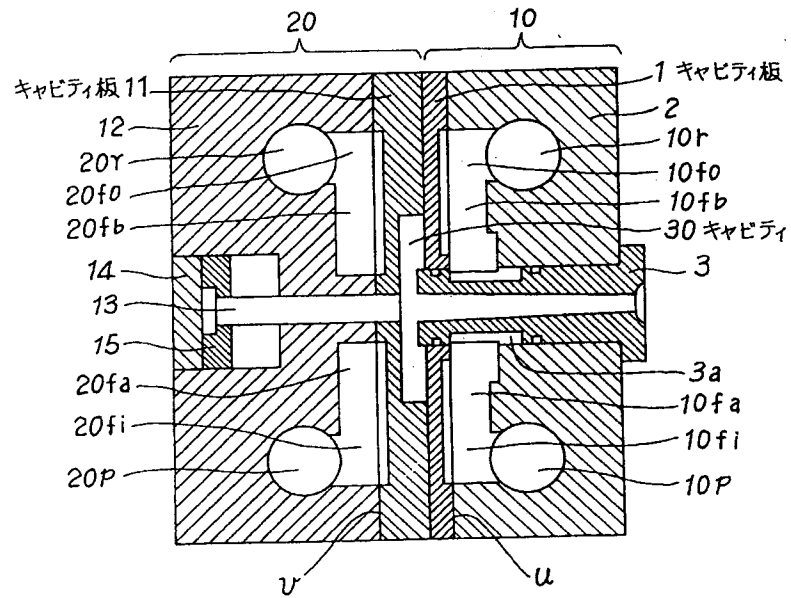
特 許 出 願 人 三菱重工株式会社
 代理人 弁理士 磨 木 貴



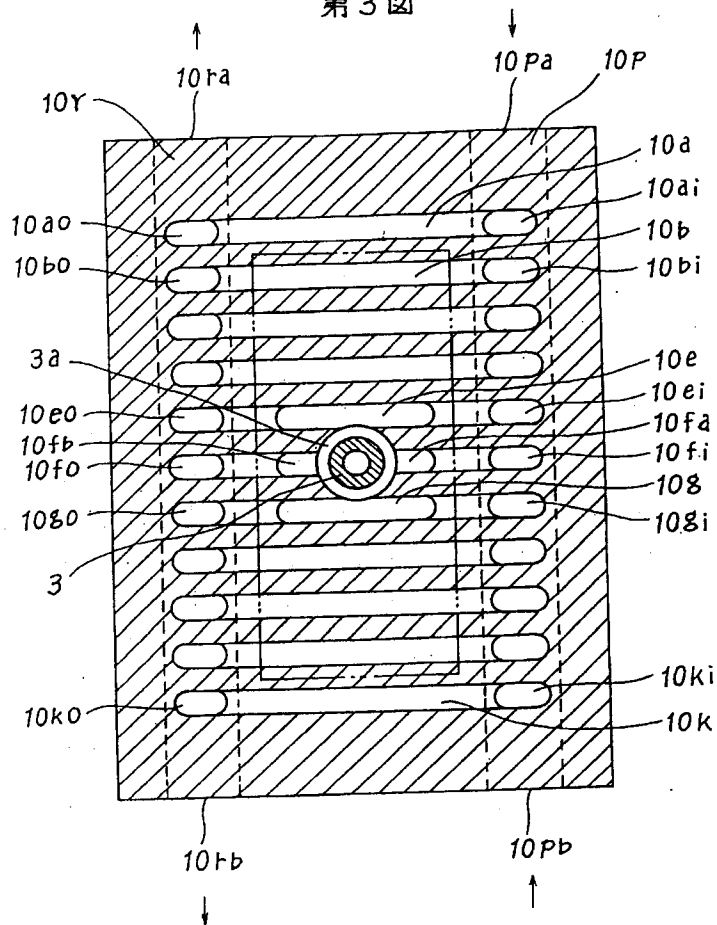
1 5



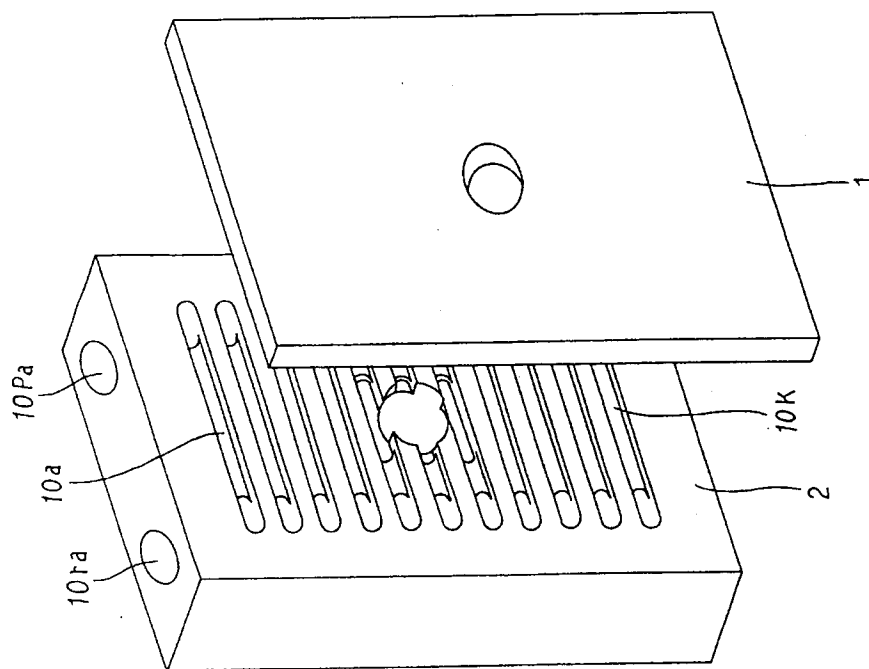
第2図



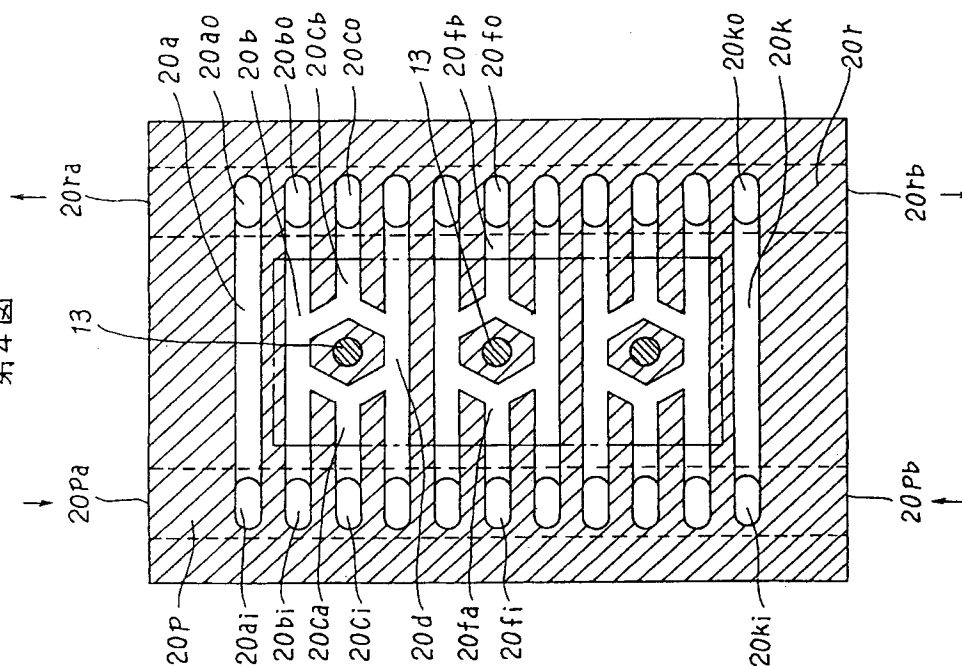
第3図



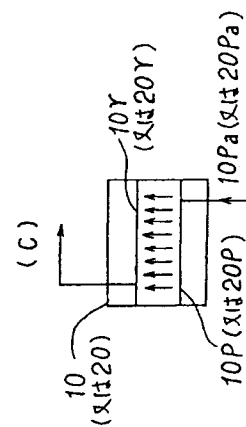
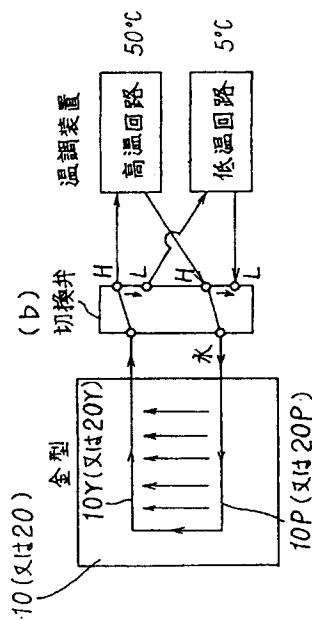
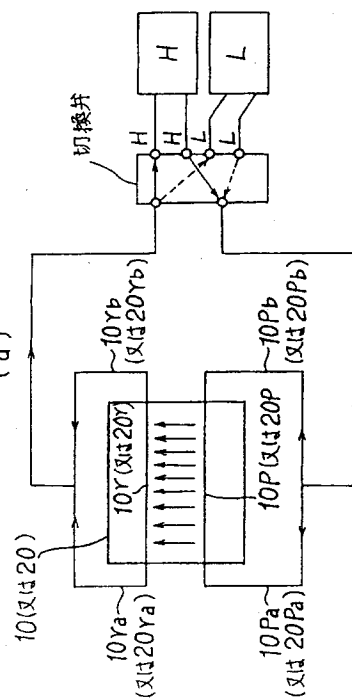
第5図



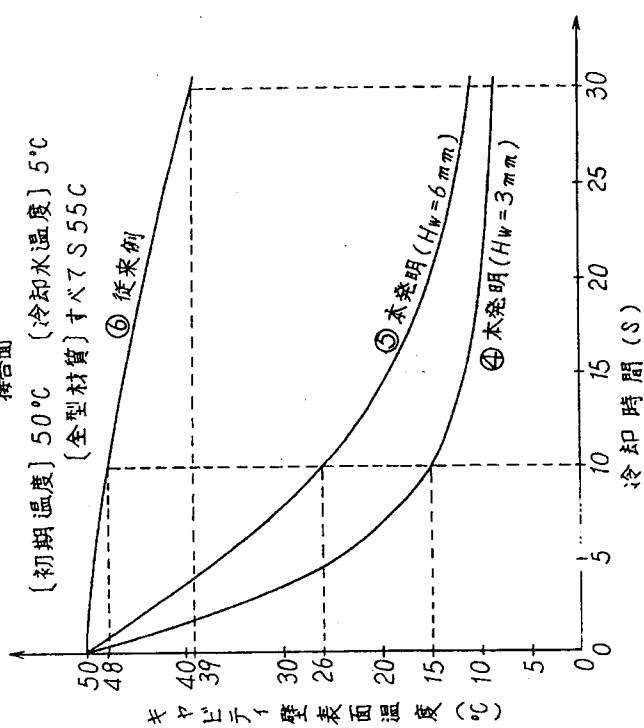
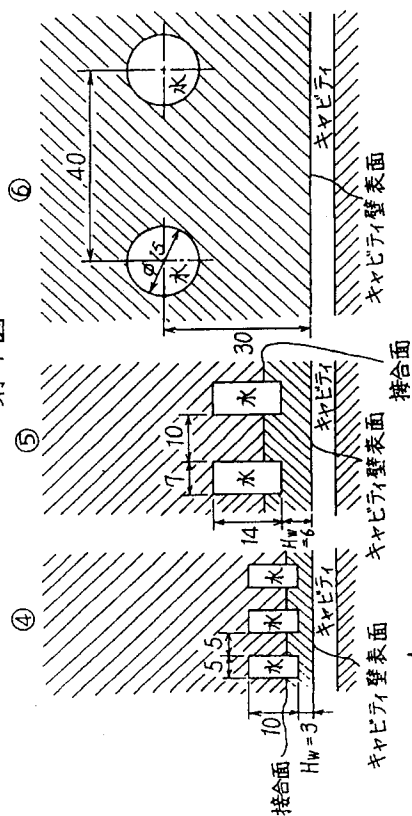
第4図



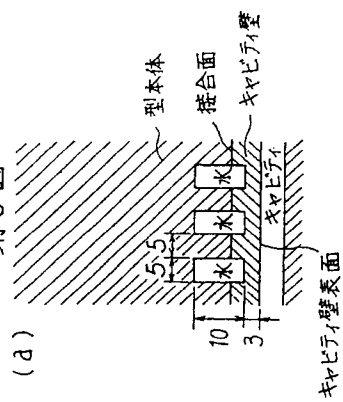
第 6 圖



第七圖

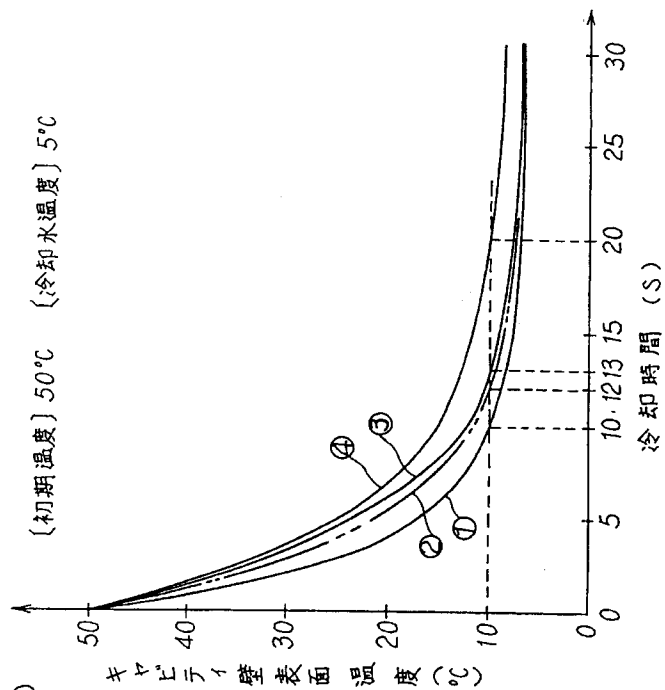


第8図

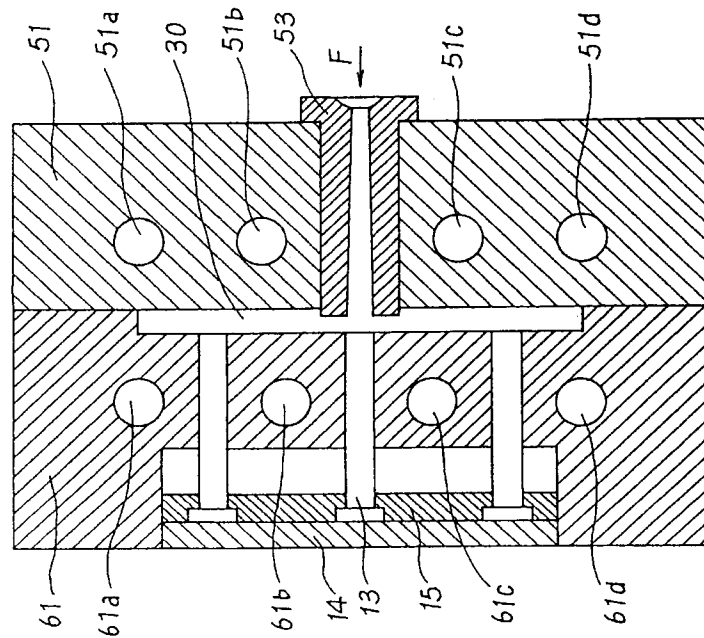


(b)

〔初期温度〕50℃ (冷却水温度) 5℃



第9図



手 続 補 正 書

平成 2 年 9 月 10 日

特許庁長官 植 松 敏 殿

4-24

補正の内容

1. 明細書第11頁第1行目の「ある。」の記載の後に次の記載を挿入する。

「また温度分布の調整のために、熱媒体通路の抵抗に変化を持たせることも可能である。」

以 上

1. 事件の表示

特願平 2 - 2 0 3 3 8 9 号

2. 発明の名称

金 型

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 東京都千代田区丸の内二丁目5番1号

名 称 (620) 三菱重工業株式会社

4. 代 理 人

住 所 東京都千代田区猿樂町2-4-2(小黑ビル)

氏 名 (6854) 弁理士 唐 木 貴



5. 補正命令の日付 自 発

6. 補正の対象

発明の詳細な説明の欄

方式 査 閲

7. 補正の内容

別紙記載の通り

